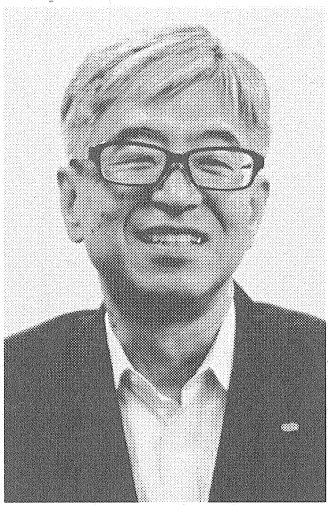


クラウド型
も販売開始

マッピングの可能性

クボタがこれまでの経験を生かした新たなIoTソリューションシステム「KSIS」のサービス提供を開始する中、グループ会社の管総研では、管路管理システム「WATERS」を進化させた「WATERS-Cloud」を4月から販売開始する。これまでのクラウド型のマッピングシステムの登場で、日常の調査点検、災害時の現場立ち会いなど適用範囲が広がる。さらに、IoT化で水量・水圧データまでマッピングシステムで一元的に管理していくことも視野に入れている。クボタグループとしての管総研の戦略を、三好秀幸社長に聞いた。

管総研 三好 秀幸 社長に聞く



これからの維持管理時代には管路の耐震性、老朽度、水理の重要度などを評価する必要がある。クボタグループでは、1980年代から「管路管理システム（マッピングシステム）」をはじめ、「水道配管設計積算CADシステム」「水理解析支援システム」、さらに「マッピングデータを活用した管路評価診断業務」に取り組み、管路評価手法の確立に携わってきた。「当社としては1

990年に川西市さまが導入したのが最初だが、**■更新・耐震化に** 管路の維持管理や更新計画の策定、設計支援について、これまで約300社の事業体さまをお手伝いしてきた」と、着実に実

理解析にも使える。これからアセットマネジメントや更新・耐震化計画の策定は待たないで、お役に立てるのではないかと。今年に上程された水道法改正案では、水道施設台帳の整備を義務付けるなど、保有資産の健全度の把握、あるいはアセットマネジメントに基づく管路更新・財政計画の策定がより一層求められる。同社のマッピングシステムを核としたソリューション展開に期待がかかる。

■一貫受注の強み
管路設計システムでも「今後、更新・耐震化事業が進むにつれ、設計案件も増える。当社のCADシステムで設計し、作成した竣工図の位置データを当社に活用すれば、管路の維持管理から評価、診断にも使える。一連の流れが同じシステム上で運用できる上、当社には各システムの開発から構築、その運用支援まで一貫して行っている強みもある。これから包括委託も進み、各業務の連携が深まれば、データの共有化がますます求められるのではないか」と述べ、マッピングシステムの受託運用・共通利用による業務の効率化や、データ連携による情報の高度化など、地域ニーズに応じた提案に力を入れていきたいと語る。

■IoT化を先鞭
さらにIoT化が進展する中、クボタのIoTソリューションシステム「KSIS」の中核的システムの一つとして、市場展開を見据えている。「東日本大震災では当社のバックアップデータから紙図面を提供したが、タブレットも大変有効。GPSと連動すれば、その場で図面を読み取ることができる。また、管網上に各種センサーを付ければ、水量や水圧データなどを取得することができ、マッピングシステムで「見える化」できる。

クボタがこれまでの経験を生かした新たなIoTソリューションシステム「KSIS」のサービス提供を開始する中、グループ会社の管総研では、管路管理システム「WATERS」を進化させた「WATERS-Cloud」を4月から販売開始する。これまでのクラウド型のマッピングシステムの登場で、日常の調査点検、災害時の現場立ち会いなど適用範囲が広がる。さらに、IoT化で水量・水圧データまでマッピングシステムで一元的に管理していくことも視野に入れている。クボタグループとしての管総研の戦略を、三好秀幸社長に聞いた。



1月末に京都市で開催したクボタ新春のつどいでクラウド型「WATERS Cloud」をパネル展示

その先鞭をつけていき「クラウド型を開発しているサイイノベーションは施工管理情報やマッピングシステムを自動連携させることができる。他企業との輻輳などの維持管理現場の問題を考えると、将来的には3次元のマッピングシステムもニーズがあるのではないか」と意気込む。

■管総研らしきで
更新・耐震化への活用について「お客さま目線から、管総研らしきで提案したい」と思っている「社員には、将棋の羽生三冠の言葉から、キスアプローチ（Keep it simple stupid）で挑戦しよう」と伝えていきます。ようはごちゃごちゃ考えず、簡単にやれ、ということ。考え、動かし、失敗して、まず取り組む。失敗しても原因分析して再挑戦すればいい。IoTの利活用をはじめ、社員一人ひとりが果敢に挑戦していくようにしたい」と語る。

【三好 秀幸（みよし ひでゆき）氏の略歴】1992年にクボタに入社、水情報システム部開発課長、鉄管事業推進部第3グループ長を経て、2009年に管総研に出向。同社調査研究部長、技術部長、取締役技術統括部長を経て、昨年3月に代表取締役社長に就任。趣味は週一回のリフレッシュとなっているテニス、ランニング、将棋。岡山大学大学院理学研究科修了。1957年12月27日生まれ、大阪府出身。